



学校だより

平成30年10月26日

横浜市立高田中学校

11月号(第30-08号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

高田祭 合唱の部

10月16日(火)に都筑公会堂で高田祭・合唱の部(合唱コンクール)が実施されました。合唱コンクール実行委員会により、1学期から準備が始められ、9月初旬から各クラスで本格的な合唱の練習が始まりました。この日の発表では、どのクラスも自分たちの努力の成果を十分に発揮できていたと思います。一年生は、元気に大きな声で歌い、高田中の「夢・希望」として来年そして再来年の発表が楽しみと思われる発表でした。二年生は、去年の経験を生かし声量だけではなく、表現も工夫し、去年と比較すると大きく成長したことを感じられる発表でした。高田中の「顔」として立派にその役割を果たしていました。三年生は、最高学年として、また、高田中の「心・良心」として見事な発表を行いました。学年全体による課題曲の合唱は迫力があり、聞いている人たちを感動させていました。



高田中の合唱への取組は、賞を取ることが目的ではなく、生徒一人ひとりが、自分に任された役割をしっかりと果たすことにより、大きな声になり、美しいハーモニーがつけられるということを体験的に学び、一人ひとりが共通の目標に向かって協力することの大切さを学ぶ機会とすることを目的としています。この合唱コンクールで学んだことを今後の学校生活に活かしてくれることを期待しています。

合唱コンクール結果

- | | | | | |
|----|----|------|---------------|-------------|
| 1年 | 金賞 | 1年2組 | 課題曲:夢の世界を | 自由曲: COSMOS |
| 2年 | 金賞 | 2年1組 | 課題曲: Tomorrow | 自由曲: あなたへ |
| 3年 | 金賞 | 3年1組 | 課題曲: 大地讃頌 | 自由曲: 虹 |

合唱コンクール実行委員会委員長のことば 3年2組 渡辺 琴音さん

みなさん、合唱コンクールお疲れ様でした。夏休み前から始まり、たくさん積み重ねてきた練習の成果を発揮することができたと思います。どのクラスも素晴らしい合唱でした。合唱はクラスが一丸となって初めて創り上げることができます。そして、それを通して培ったクラスの絆はとても深いものです。また、合唱コンクールには結果がつきものです。しかし、学年で円陣を組んだり、結果に関係なくお互いを讃えあっている姿を見て、合唱は学年の絆も深められ

るものだと感じる事ができました。今のクラスでいられるのは、あと約五ヶ月です。残りの時間を学年・クラスの絆を大切にしながら、過ごして行ってほしいと思います。

一・二年生、来年の高田祭は今年を超えることを期待しています。

先生方、お忙しい中、たくさんのサポートをしてくださり、ありがとうございました。

最後に、この高田祭が皆さんの心に残る最高の思い出になっていることを願っています。

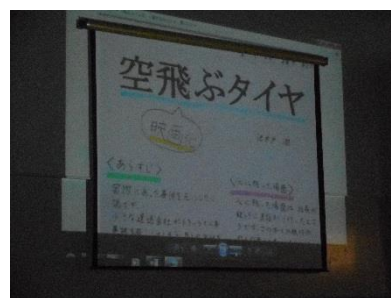
高田祭 文化の部

10月18日(木)に本校体育館で第23回高田祭(文化の部)が開催されました。今年度の高田祭のスローガンは「～響け歌声 輝け心 303人の笑顔を魅せろ～」というものでした。合唱の部では、各学級の歌声が響き、文化の部では、部活動、委員会、教科、有志の皆さんの展示や舞台発表により303人の心が輝き、全員が笑顔になれたのではないかと思います。

今年度より、文化の部の発表で、「高田の時間」で取り組んだ本の紹介のプレゼンテーションが実施されました。「高田の時間」とは、大きなテーマに基づき、生徒一人ひとりが読む本を選び、毎朝10分間で読書するという活動です。夏休みに読んだ本についてポスター形式でまとめ、そのポスターを使用しながら9月、10月に学級でプレゼンテーションを行いました。文化の部では、各学級から選ばれた生徒が本のプレゼンテーションを行いました。また、英語スピーチも5名の生徒によって行われ、司会も英語で行われました。

文化の部は、毎日の学習の成果を発表するという形式になっており、ステージ発表と展示が行われました。ステージ発表では、5・6組のトーンチャイムの演奏、国際平和スピーチの発表等がありました。それ以外にも有志団体の発表では、ピアノの演奏、コント、ダンスなど、普段見ることのできない生徒の様々な面を見ることができました。ステージ発表の最後を飾ったのは、吹奏楽部でした。様々な楽しい曲が演奏され、3年の先生方のパフォーマンスもあり、大いに盛り上がりました。

展示発表では、多目的ホール、5、6組教室、被服室、調理室、調理室前の廊下などに、社会科、美術科、美術部、パソコン部、学年の総合的な学習の成果物、保健委員会の調査研究、高田の時間で作成した本の紹介ポスターなどが発表され



て大変充実した展示発表でした。

今年度も会場での鑑賞態度は、場の雰囲気に合わせて、静かに鑑賞するべき時は静粛に、盛り上がる時は大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

高田祭実行委員長のことば 3年3組 富岡 立翔さん

みなさん、先日の高田祭お疲れ様でした。合唱の部では、クラスで様々な問題や課題が起きたときに全員の力で乗り越え練習をしてきたことだと思います。そして当日は、全てのクラスが都筑公会堂に美しい歌声を響かせることができたと思います。文化の部では、3年生を中心に発表などの時は静かに、有志団体などの盛り上がる場所では盛り上がるという切り替えができていました。アクシデントが起きた時なども対応していただきありがとうございました。

そして、当日まで頭を抱えて僕ら生徒と真正面から向き合ってくくださった先生方、ありがとうございました。また、高田祭に来てくださった保護者の方々、地域の方々、ありがとうございました。

僕は、高田祭までの6ヶ月間で築いてきたものを大切に、残りの中学校生活を楽しんでいき、高中で過ごした証を作れるよう頑張ります。これまでご協力ありがとうございました。

創立30周年記念行事

高田中学校は創立満30年を迎え、10月18日（木）の午後（高田祭文化の部終了後）に記念式典を行いました。本校は昭和63年4月1日に新田中学校から分離独立し、生徒数511名、学級数12学級でスタートしました。それから30年が経ち、29年度までの卒業生総数は3824名となりました。保護者の皆様、地域の皆様の温かい支援のおかげで、30周年を迎えることができたと深く感謝をしているところです。



当日の式典は、①開式のことば、②校歌斉唱、③校長あいさつ、④実行委員長あいさつ、⑤地域代表あいさつ、⑥生徒代表誓いのことば、⑦閉式のことば、というプログラムで実施されました。校長からは、「どんな時代になっても『変わらず大切にしなければならないこと』と『挑戦することで自分を変え、成長させること』を的確に考え、判断、行動できる人になってほしい」との話がありました。生徒代表の前生徒会長の清水彰英さんから、「先輩方が創ってこられた高田中学校の良さをいつまでも絶やすことなく、皆様の思いと伝統を引き継ぎ、これからも力を合わせて魅力ある学校であるよう努力することを生徒を代表してここに誓います。」との誓いの言葉がありました。

今年度本校は創立31年目を迎えていますが、今後とも生徒、教職員が伝統を大切にしながら、新しいことにも積極的に取り組み、よりよい学校を目指して努力していきます。

横浜市立中学校・義務教育学校個別支援学級合同体育祭に出場してきました！！

予定されていた9月27日（木）が雨天のため、翌日に延期となり、28日（金）に三ツ沢競技場で、「第59回合同体育祭」が行われました。前日の悪天候とは打って変わり、雲一つない青空の中、市内の学校が一同に集まり、様々な競技が繰り広げられました。

今年のスローガンは「全力突破～すべての力を出し切ろう～」です。高田中学校では、体力の授業の中で、多いときには4000mを走って体力作りをしています。長距離走、100m走、リレーのバトンパスを4月初より練習して競技に臨みました。今年から競技場の周囲コースが使えない関係で、長距離走が800mに変更となったこともあり、夏休み明けから400mのラップタイムを各々の走力に合わせて、1'10～2'00になるように目標を立てて、走り込み練習に取り組んできました。

初めの競技100m走では、皆が持ち前のスタートダッシュを生かして走り切りました。次の種目は800m走です。大会初めての試みであったこともあり、レースに時間がかかり、招集場所での待機時間が長かったのですが、集中力を切らすことなく出番を待ちました。いよいよレースがスタートしました。普段の練習でも常に全力で走っていたこともあり、良い感じのスタートを切りました。200m地点で榎原先生から「ラップの確認の激励」を受けて400mを目標より少し速いラップで入りました。結果、全員が大幅にタイムを上げて、ベストタイムでゴールすることができました。すばらしい走りでした。

午後のリレーは、テークオーバーゾーンをスピードを生かしながら使う練習を積み重ねてきたこともあり、バトンパスはスムーズでスピードに乗っていました。残念ながら入賞は逃しましたが、4人が力を出し切れた最高のリレーでした。

気温30℃を越える中、ほんの少し日焼けをした顔は、満足感に満ちていました。来年度も頑張りたいと思います。



高田園のお色直し

おやおやの会「花と緑の会」の皆様が高田園をハロウィン色に染めてくださいました。

見ているだけで温かい気持ちになります。いつもありがとうございます。

